

1 概 要

緊急消防援助隊は、平成7年の阪神・淡路大震災を契機に同年に創設され、その後発生した大規模な災害に対し、これまでに47回の出動実績があります。

緊急消防援助隊の消火・救助技術や指揮・連携活動能力等の向上を図ることを目的に、創設以来おおむね5年に1回、全国の緊急消防援助隊が一堂に会して行う全国合同訓練が実施されています。

第7回は、令和8年度に「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震」を想定災害として、宮城県及び北海道で実施されます。

2 主 催

総務省消防庁



3 共 催

宮城県、北海道、全国消防長会、
宮城県消防長会、全国消防長会北海道支部



4 実施時期

令和8年夏 図上訓練
〔消防庁、北海道、青森県、岩手県、宮城県〕
令和8年秋 実動訓練〔宮城県〕
令和8年冬 実動訓練〔北海道〕

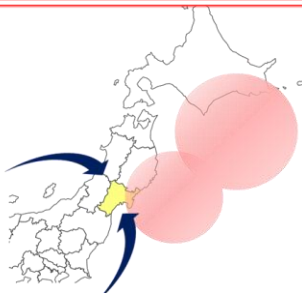
5 県内の訓練会場

メイン会場を仙台塩釜港（石巻港区）雲雀野地区とし、他想定災害に応じてサテライト会場を複数設置予定

6 主な訓練内容

- (1) 緊急参集訓練
- (2) 後方支援・宿営訓練
- (3) 全国的な連携訓練
- (4) 特殊任務部隊実践訓練

日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震を想定



7 訓練参加予定機関

各都道府県緊急消防援助隊、県内消防本部・消防団、自衛隊、警察、海上保安庁、TEC-FORCE、DMAT等

8 過去の訓練実績

	実施年度	実施場所	訓練想定	参加隊数等
第1回	H7年度	東京都	首都直下地震	135隊
				1,500名
第2回	H12年度	東京都	首都直下地震	206隊
				1,922名
第3回	H17年度	静岡県	東海地震	386隊
				1,953名
第4回	H22年度	愛知県	東南海地震	411隊
				2,139名
第5回	H27年度	千葉県	首都直下地震	582隊
				2,361名
第6回	R4年度	静岡県	南海トラフ地震	678隊
				2,776名

※第6回緊急消防援助隊全国合同訓練の概要は別紙のとおり

第6回緊急消防援助隊全国合同訓練（静岡県）

1. 図上訓練

- 日時
令和4年7月27日（水）
- 場所
消防庁、静岡県、和歌山県、高知県、
宮崎県

2. 実働訓練

- 日時
令和4年11月12日（土）
～11月13日（日）
- 場所
静岡県内8箇所
（メイン会場：富士山静岡空港西側県有地）
- 部隊運用訓練
 - ①メイン会場：富士山静岡空港西側県有地
 - ・土砂災害救出訓練
 - ・毒劇物漏洩災害対応訓練
 - ・列車脱線事故救出訓練
 - ・中高層建築物倒壊救出訓練等



- ②サブ会場：遠州灘海浜公園
（篠原地区）建設予定地
 - ・大規模市街地火災対応訓練
 - ・大規模津波災害対応訓練



- ③サテライト会場：安田造船所敷地
 - ・倒壊家屋救出訓練
 - ・津波漂流者救出訓練



- ④サテライト会場：一般社団法人日本建設機械施工協会
施工技術総合研究所
 - ・橋梁崩落救出訓練
 - ・トンネル災害複合訓練



- ⑤サテライト会場：静岡県消防学校
 - ・都市型搜索救出訓練
 - ・複合建築物火災対応訓練



- ⑥サテライト会場：ENEOS株式会社清水油槽所
 - ・石油コンビナート火災対応訓練



- 情報収集・配信訓練：一般社団法人日本建設機械施工協会施工技術総合研究所



- 宿営訓練：静岡県小笠山総合運動公園エコパ駐車場等



- 燃料補給訓練：外神スポーツ広場

